

令和元年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために投稿先の名前住所を書く	54.4%	内容をとらえたり、情報を整理すること、伝えたい事柄について根拠を明確にして書くなどの力は身に付いている。	手紙の体裁や書き方など、日常生活で薄れつつある国語の文化についての基礎基本の定着に課題がある。
算数・数学	冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、座標の差が表すものを選ぶ	36.0%	連立方程式を解く、確率を求めるといった基本的な計算技能が身に付いている。	式やグラフを使って説明することや現実の事象に即して解釈することに課題がある。
	式やグラフを利用して、総費用が同じになる使用年数を求める方法を説明する	43.9%		
	「1日に26分読書をしている人が多い」ということが適切でないことを、ヒストグラムの特徴をもとに説明する	45.6%		
英語	家での会話を聞いて、内容を適切に表している絵を選択する	59.6%	与えられたテーマについて考えを話す力が身に付いている。	まとまった情報を聞き、正しい選択肢を選ぶ力の定着に課題がある。
	留学生のメッセージを聞いて、部活動についてついでのアドバイスを聞く	8.8%		

●児童・生徒の学力向上を図るための調査（小学校第5学年・中学校第2学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	2-(3) 言語についての知識・理解・技能	29.9%	目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈できる。	中学1年までの漢字の復習及び、文の成分の役割の理解を深めることにより、言語の知識と技能を増やす必要がある。
	7-(3) 書く能力	36.5%		
	4-(2) 言語についての知識・理解・技能	40.1%		
社会	3-(5) 社会的な思考・判断・表現	21.9%	単一の地図、グラフ、年表に親しみ、物事をとらえ、判断することはできている。	説明文、地図、表など複数の資料をこなす力が不十分である。
	6-(1) 社会的な事象についての知識・理解	21.9%		
	1-(2) 社会的な事象についての知識・理解	25.5%		
算数・数学	5-(3) 数学的な見方や考え方	17.5%	基礎的な知識や技能の問題は概ねできている。	作図を示している式を選ぶことや方程式を作り、何を表しているかを説明するなど、見方・考え方の能力に課題がある。
	5-(2) 数学的な見方や考え方	19.0%		
	5-(2) 数学的な見方や考え方	27.0%		
理科	5-(2) 実験・観察の技能	15.3%	考えるための基礎となる知識は身に付いており、自然現象を理解することができている。	問題の条件を適切に把握する能力と、発見した規則を条件に当てはめる力が不十分である。
	5-(3) 科学的な思考・表現	21.2%		
	8-(3) 科学的な思考・表現	24.1%		
外国語 ※中学校のみ	質問に対して自身のことを正しい英文で書く	23.4%	場面に応じて適切な対応をするための語彙や語用を理解している。	自身の言葉として正確に英文を作る力と、英文を読み概要をとらえる力が不十分である。
	観光案内を見て概要をとらえる	44.5%		
	会話の中で適切な文型を選び答える	43.8%		